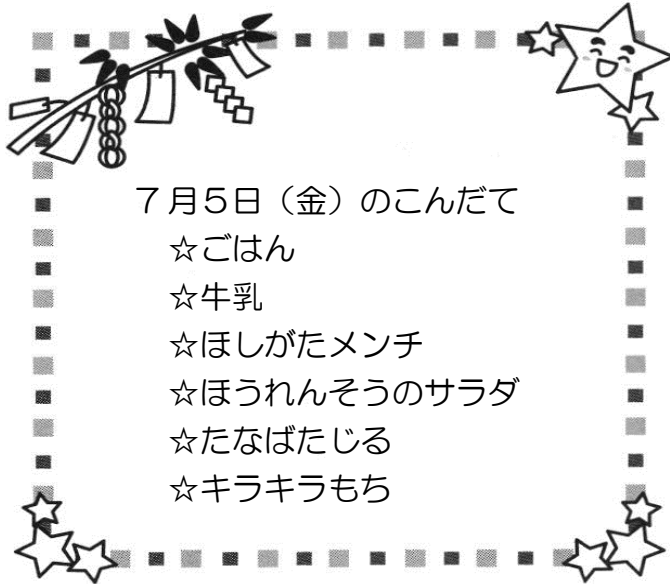


きゅうしょく

たなばた給食



てん かみさま むすめ おりひめ はたぬの お しごと しごと おりひめ しんばい てん かみさま むすめ
天の神様の娘である織姫は、機で布を織るのが仕事です。しかし、仕事ばかりする織姫を心配した天の神様は、娘
あま がわ む ぎし うし せわ ひこほし ひ あ ふたり こい むちゅう しごと
を天の川の向かい岸にいる牛の世話をしていた彦星と引き合わせました。すると二人は恋に夢中になってしまい、仕事
まった
を全くしなくなりました。それを見た天の神様は、二人を天の川の両岸に引き離してしまいました。離れ離れになっ
たふたりは、あ 会えなくなったさみしさで、さらにしごと ことができなくなってしまいました。そのため、ふたり ようす あわ
思った天の神様は、おも てん かみさま いちねん いちど がつ か よる あ ゆる でんせつ
一年に一度7月7日の夜にだけ会うことを許しました。これがたなばたの伝説です。



ひこほし おりひめ
彦星と織姫

たなばた あま がわ おりひめ いと み た
七夕には、天の川や織姫のつむぐ糸に見立てて
「そうめん」を食べるならわしがあります。
きゅうしょく た せんぎ
給食のたなばたじるには、千切りにした
かまぼこを入れて、あま がわ み た
天の川に見立てました。
ほしがた はい
星形のかまぼこも入っています。